

日本気象学会第25期役員選挙告示

現在の役員は、昭和63年7月で2年の任期が満了となりますので、定款に従い、次の要領で次期役員選挙を行います。

1. 選出する役員

理事 27名

監事 2名

2. 立候補および候補者推薦の届出

イ. 候補者の資格

昭和63年4月1日現在の通常会員

ロ. 届出方法

立候補する者および候補者を推薦する者は、次の書類を付し、選挙管理委員会に届ける（郵送でもよい）。

- i) 候補者氏名、生年月日、所属機関、卒業学校名と卒業年次、種類別（理事、監事の別）。
- ii) 候補者を推薦する場合は候補者の承諾書。
- iii) 候補者の所信、とくに、気象学会が当面していると思われる重要問題について具体的な考え方を400字以内にまとめたもの。

ハ. 届出締切

昭和63年4月26日までに選挙管理委員会に必着のこと。

ニ. 宛名

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁海洋気象部気付 日本気象学会選挙管理委員会

ホ. 候補者の資格審査

選挙管理委員会は、前項に従って届出された立候補者および推薦候補者の資格審査を、昭和63年4月27日に行い、公示する。

ヘ. 候補者名簿は受付順とする。

3. 投票

イ. 有権者資格

昭和63年4月1日現在の通常会員

ロ. 候補者名簿および投票用紙

昭和63年5月下旬にこれらを送付しますから、6月15日までに到着しないときには、直ちに選挙管理委員会に申し出てください。

ハ. 投票期日

昭和63年7月5日までに選挙管理委員会に必着のこと。

ニ. 投票方法

理事、監事別に連記無記名文書投票とする（方法の詳細は投票用紙と共に送ります）。

4. 開票および結果の告示

イ. 開票期日

開票は昭和63年7月6日気象庁内で行います。

会員はこの開票に立ち会うことができます。

ロ. 開票結果の告示

開票結果は、当日発表し、かつ、「天気」7月号に公示します。

昭和63年1月19日

日本気象学会選挙管理委員会

東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁海洋気象部内 (Tel. 03-212-8341 内線 409)

(委員長) 小野俊行

(委員) 大西晴夫、榊 法貴、迫田優一、佐藤清富、宮内正厚、元木敏博、吉沢宣之、渡部俊夫

(アイウエオ順)

定款及び細則（抜粋）

定款第14条

理事および監事は、次に定めるところに従い、通常会員のうちから通常会員の無記名投票によって選挙する。

1. 理事は、細則に定める地区毎の定数を全国の通常会員が選挙する。
2. 監事は通常会員の互選で定める。

定款第19条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。役員に欠員を生じたときは、細則で定める次点者をもって補い、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

細則第7条

1. 各地区の理事の定数は、各地区の会員数に応じ、次のとおりとする。ただし、関東地区については、この法人の事務の円滑な運営をはかるための定数を次のとおり加算する。
北海道地区（北海道）……………2名
東北地区（宮城県、岩手県、青森県、秋田県、山形県、福島県）……………2名
関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、

埼玉県, 群馬県, 栃木県, 新潟県, 山梨県) 8名 加算分5名
 中部地区(富山県, 石川県, 福井県, 長野県, 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県) 2名
 関西地区(大阪府, 京都府, 滋賀県, 和歌山県, 奈良県, 兵庫県, 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 香川県, 愛媛県, 徳島県, 高知県) 4名
 九州地区(山口県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県, 熊本県, 宮崎県, 鹿児島県) 3名

沖縄地区(沖縄県) 1名
 2. 監事は, 通常会員の中から2名互選される。
 3. 通常会員は, 理事および監事に立候補することができる。
 4. 他の通常会員によって書面により理事および監事に推薦され, かつそれを承認した通常会員は, 推薦候補となることができる。
 5. 理事および監事は, 立候補者および推薦者以外の通常会員からも選挙される。
 6. 理事および監事の選挙は, それぞれ種類別に連記する無記名文書投票とする。

第24期第11回常任理事会議事録

日時 昭和62年11月20日(金) 15:00~18:00
 場所 気象庁観測部会議室
 出席者 山元, 関口, 中村, 荒川, 村上, 重原, 能登, 山川, 浅井, 竹内, 河村

議題

A 被告事項

1. 第24期第4回理事会議事録の確認について一部修正のうえ確認された。
2. 昭和62年度日本気象学会臨時総会議事録の確認について原案のとおり確認された。

3. 各委員会報告

[庶務]

資料にもとづき報告があった。主なものは次のとおり。

- (1) 「第25回理工学における同位元素研究発表会」の論文募集要領の機関誌への掲載及び共催分担金の負担依頼。
- (2) 「日本学術会議だより」第7号の機関誌への掲載依頼。
- (3) 日本学術会議から昭和63年における学術研究集会等の開催予定についての調査依頼。
- (4) 「第10回風工学シンポジウム」の共催と運営委員会委員の推薦依頼。
- (5) 国会図書館に「予稿集」を寄贈することにした。

[会計]

資料にもとづき10月分の収支状況について報告があった。

[天気]

地方の編集委員との意見交換を行った。最近「天気」の論文のレベルが高くなって、地方からは投稿しにくくなってきたとの意見が出た。支部活動の活発化を図るため編集の一部を各支部持ち回りで担当することにした。その内容については地区編集委員に一任する。

[集誌]

来年第1号から英文校正を実施する。これに伴いページチャージも第1号から値上げする。

[気象研究ノート]

第160号を印刷中。第161号が年度内発行予定。

[講演企画]

昭和63年春季大会予稿集の原稿締切りを3月10日とし、3月11日に委員会を開いてプログラムの編成を行う。

また、「予稿集」は著作権が気象学会に帰属する旨を明記する。

[教育と普及]

「天気」11月号に普及講座が出る。これが最後となる。

かわって新シリーズ「気象談話室」を連載することになった。